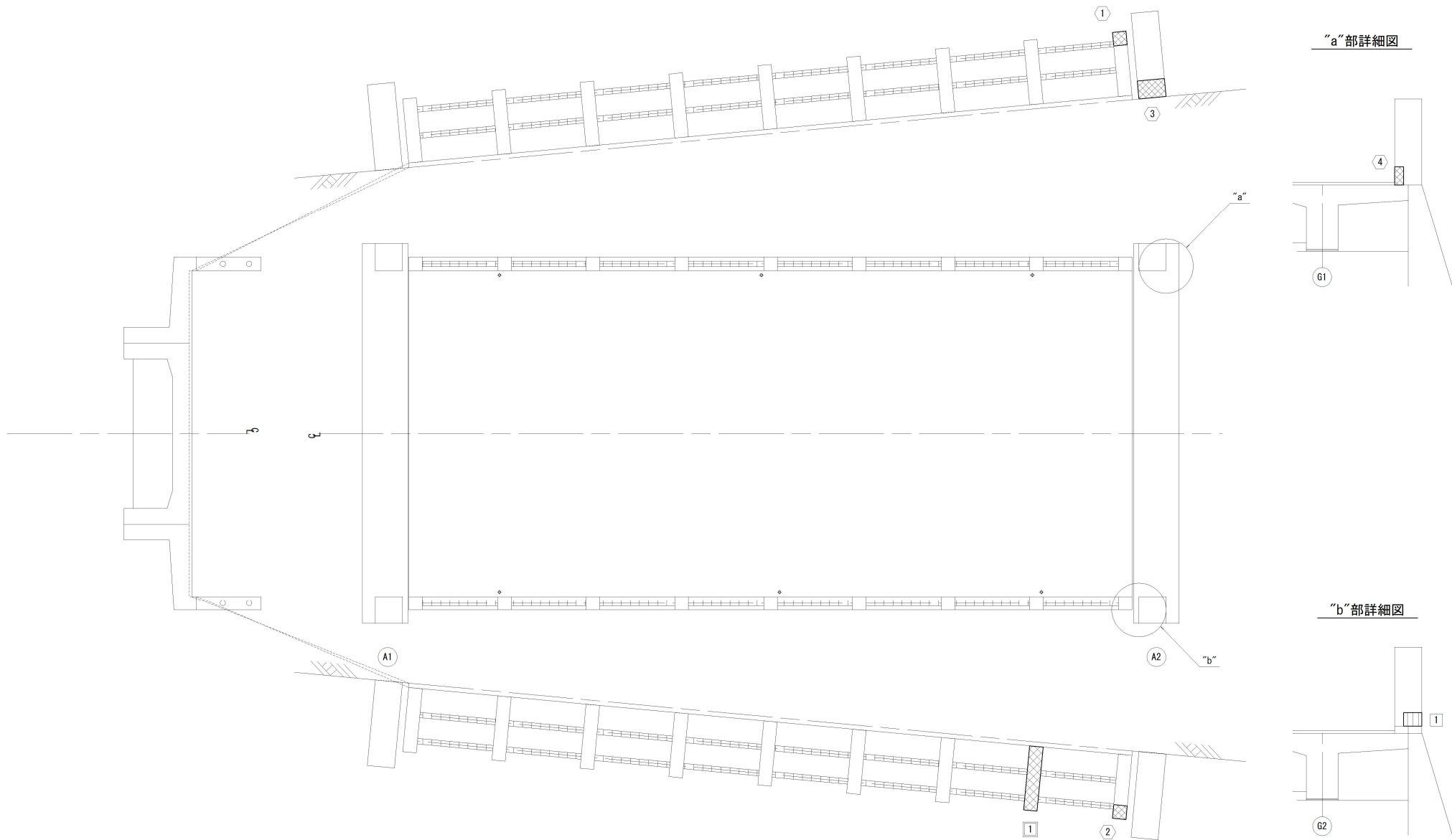
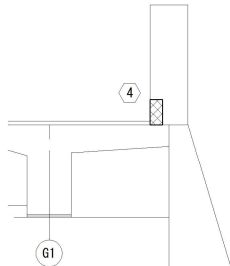


コンクリート補修図(2/2) S=1:30

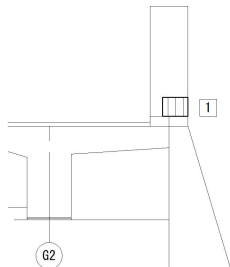
橋 面



“a”部詳細図



“b”部詳細図



数量表

【補修方法：断面修復工 損傷の種類：剥離】

番号	寸法(1箇所あたり)(m)	面積	体積	備 考
幅	x 長さ x 深さ	(m2)	(m3)	
①	0.30 x 0.20 x 0.050	0.060	0.003	
合 計		0.060	0.003	

【補修方法：断面修復工 損傷の種類：鉄筋露出】

番号	寸法(1箇所あたり)(m)	面積	体積	備 考
幅	x 長さ x 深さ	(m2)	(m3)	
①	0.15 x 0.15 x 0.050	0.023	0.001	
②	0.15 x 0.15 x 0.050	0.023	0.001	
③	0.30 x 0.20 x 0.050	0.060	0.003	
④	0.10 x 0.20 x 0.050	0.020	0.001	
合 計		0.126	0.006	

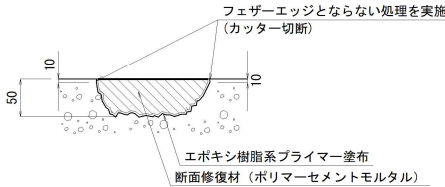
【補修方法：断面修復工 損傷の種類：欠損】

番号	寸法(1箇所あたり)(m)	面積	体積	備 考
幅	x 長さ x 深さ	(m2)	(m3)	
①	0.15 x 0.71 x 0.050	0.107	0.005	
合 計		0.107	0.005	

凡 例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ (幅0.2mm未満)		鉄筋露出	
ひびわれ (幅0.2mm以上～1.0mm未満)		剥 離	
ひびわれ (幅1.0mm以上)		欠 損	
遊離石灰		洗 堀	
う き		その他	

断面修復詳細図(左官工法)
(剥離・鉄筋露出、欠損)
防護柵(終点側)



材料表		1.0m2当り	
名 称	単位	t	摘 要
断面修復材	m3	0.050	ポリマーセメントモルタル
プライマー	m2	1.20	エポキシ樹脂系

左官工法施工フロー

躯体処理(はつり)

躯体表面から50mm程度まではつる。

下 地 処 理

ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。

鉄 筋 防 錆 処 理

鉄筋の錆を落とし、防錆剤を塗布する。

プ ラ イ マ ー 塗 布

はつり出したコンクリート面に刷毛を用いてプライマーを塗布する。

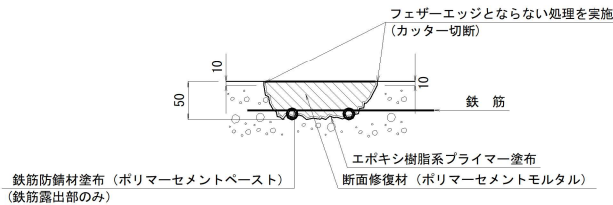
断面修復(左官工法)

ポリマーセメントモルタルを左官工法により施工する。

養 生 ・ 仕 上 げ

表面は後工程がないため、平坦に仕上げる。

断面修復詳細図(左官工法)
(剥離・鉄筋露出)
親柱(終点側)



材料表		1.0m2当り	
名 称	単位	t	摘 要
断面修復材	m3	0.050	ポリマーセメント系
プライマー	m2	1.20	エポキシ樹脂系
鉄筋防錆材	m2	0.32	D13#250メッシュ想定

左官工法施工フロー

躯体処理(はつり)

躯体表面から50mm程度まではつる。

下 地 処 理

ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。

鉄 筋 防 錆 処 理

鉄筋の錆を落とし、防錆剤を塗布する。

プ ラ イ マ ー 塗 布

はつり出したコンクリート面に刷毛を用いてプライマーを塗布する。

断面修復(左官工法)

ポリマーセメントモルタルを左官工法により施工する。

養 生 ・ 仕 上 げ

表面は後工程がないため、平坦に仕上げる。

- 注)
- コンクリートの損傷部は鋼材の裏側まで研り取り、鋼材の錆を除去し、これによりはつり深さが変更になる場合は、監督職員と協議の上、指示に従うものとする。
 - 断面修復の深さは50mmを想定値とする。
施工時に健全部へ影響を与えないよう不良部を完全に除去するものとする。
 - 補修範囲については施工時に再度確認し、状況に応じて損傷状況にあわせた補修範囲および補修工法を検討するものとする。
 - 断面修復の備考欄に材料名の記載のないものは、基本的な力学的性能を満足するものとし、圧縮強度 $\sigma_{ck} \geq 21\text{N}/\text{m}^2$ 以上、付着強度 $\sigma_{bck} = 1.3\text{N}/\text{m}^2$ 以上の製品を使用する。
 - 断面修復を行う過程ではつり面における鋼材のぶり・腐食状況については今後の維持管理上の資料として記録していくこと。

- 注)
- コンクリートの損傷部は鋼材の裏側まで研り取り、鋼材の錆を除去し、これによりはつり深さが変更になる場合は、監督職員と協議の上、指示に従うものとする。
 - 断面修復の深さは50mmを想定値とする。
施工時に健全部へ影響を与えないよう不良部を完全に除去するものとする。
 - 補修範囲については施工時に再度確認し、状況に応じて損傷状況にあわせた補修範囲および補修工法を検討するものとする。
 - 断面修復の備考欄に材料名の記載のないものは、基本的な力学的性能を満足するものとし、圧縮強度 $\sigma_{ck} \geq 21\text{N}/\text{m}^2$ 以上、付着強度 $\sigma_{bck} = 1.3\text{N}/\text{m}^2$ 以上の製品を使用する。
 - 断面修復を行う過程ではつり面における鋼材のぶり・腐食状況については今後の維持管理上の資料として記録していくこと。

実 施 図

高知県		越知町	
施工年度	令和7年度	工事番号	令6老対第4号
工事名	町道鎌井田桑数線 天神橋修繕工事		
図面名称	コンクリート補修図(2/2)		
図面番号	3/13	縮尺	図 示
路線名	町道鎌井田桑数線		
工事場所	高知県高岡郡越知町	鎌井田本村	